



ピラミードたより

テーマ「大きさ」
発達領域：考えることの発達

①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

保育室にある玩具の大きさを比べました。ラキューとラキューボックスや絵本などはすぐにどちらが大きいかわかっていた子どもたちは、積み木とカプラを比べてみると、「つみきがおおきいで」「かぶらのほうがおおきい」と話し、「どっちがおおきいんやろう?」と疑問に思ってみなで話すと「こうしたら(立てたら)かぶらのほうがおおきいけど、こうしたら(寝かせたら)つみきのほうがおおきいで」と気付くことができました。



らきゅーぱっくすのほうがおおきいで!

③視野を広める(どうしてそうなるの)

髪の毛の長さを比べました。比べる前は「おとこのこのほうがみじかいかい」「おんなのこがながいやん」と話していた子どもたちでしたが、実際に髪の毛をもって比べてみると「〇〇くんのほうが〇〇ちゃんよりもかみのけながいで」「〇〇ちゃんはぼくよりかみのけみじかかったわ」と、男の子だから髪が短い、女の子だから髪が長いというわけではないことに気付くことができていました。



ぼくよりもかみのけながいなあ

②具体的に体験する(見てみよう!)

チームごとに背の高さを比べました。背中合わせに並んで横から見ると「〇〇くんのほうがたかい」「つぎは〇〇ちゃんとやってみて」と話しながらチームで一番背の高いお友だちが分かると、「ほかのちーむではだれがたかいんやろう?」と他のチームの友だちの背の高さに興味を持ち、「ちょっとぼくせくらべしてくるわ」と他のチームの友だちとも高さ比べをしていました。



どっちがたかいかな?

④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

一人ひとりの身長に合わせて紙テープを切りました。テープを渡すと色々なところで大きさを比べて「ろっかーよりもぼくのほうがたかい」「とびらはわたしよりもこんなにおおきいで」と話したり、テープで背の高さを比べて「〇〇くんとぼくやったらちょっとだけ〇〇くんのほうがせがたかいな」と少しの高さの違いにも気付くことができていました。

